

会 議 録

☐ 全部記録☒ 要点記録

1	会 議 名 令和 6 年度 ひめじ創生戦略会議
2	開催日時 令和 6 年（2024 年） 5 月 21 日（火） 午前 9 時 30 分～10 時 35 分
3	開催場所 姫路市総合福祉会館 5 階 第 2 会議室
4	出席者 ひめじ創生戦略会議委員 11 名、事務局
5	傍聴の可否及び傍聴人数 傍聴可、傍聴人なし
6	議題又は案件及び結論等 (1) 正・副会長の選任について 原案どおり承認を得た。 (2) デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）対象事業等の実施結果について No 1 から No 7 は「総合戦略の KPI 達成に有効であった」、 No 8 は「やや目標達成困難」との評価を得た。 (3) 姫路市 SDGs 未来都市計画の進捗状況について（報告） (4) ひめじ創生事業について（報告）
7	会議の全部内容又は進行記録 詳細については別紙参照

事務局	1 開会（9：30） 挨拶等
事務局	2 委員委嘱及び紹介（9：31） 任期満了による新たに就任した全委員の委嘱及び紹介
事務局	3 議事（9：34） 議事(1) 正・副会長選任について、 会長に、兵庫県立大学 理事兼副学長 畑 豊 氏、 副会長に、姫路獨協大学 人間社会学群 学群長 松田 泰至 氏を選任することとしたい。
委員	異議なし。
事務局	ここからの議事進行は会長をお願いします。
会長	議事(2) デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）対象事業等の実施結果について、事務局から説明をしてください。
事務局	【説明】
会長	事務局からの説明に関して御意見等があれば発言をお願いします。
委員	20歳から39歳の転出超過者数が悪化している件で、さまざまな要因があると思うが、主要因は何であると考えているのか。
事務局	本市の傾向としては、大学進学時や、特に女性は就職時に転

	出される傾向にある。子育て環境もよく、住みやすいまちと認識しているが、そういった本市の良さが、市民に十分に伝わっていないことが原因ではないかと考える。
委員	交付金事業を実施して、市としては、どういったことに成果があったと感じているのか。
事務局	事業２の「東京の大学生と連携中枢都市の大学、高校生による都市のイメージアップと地場産品の販路拡大」に関しては、回数を重ねることで、昨年度はプロモーション、商談会による契約成立件数が目標値を大きく上回り、良い成果であったと感じている。また、事業４の「こころとからだと農業を元気にする「ハーブの里山プロジェクト」」においては、「農園からの新規就農者数」として３人の実績があり、数字だけで捉えると少ないと感じてしまうかもしれないが、３人の就農者が生まれたということは、誇っていい実績ではないかと考えている。
委員	女性就労支援事業に参加される方は、どのような職を求めているのか。
事務局	事務職が多い。
委員	企業側は男性を求めている傾向が強いのか。
事務局	性別や経歴は関係なく、若い人を求めていると聞いている。
委員	確かに民間企業においては、性別に関係なく求人しているが、大企業はともかく、資金力が乏しい中小企業においては、男女別の更衣室やトイレを設置することなども難しいため、そういったことへの補助等が必要ではないかと思う。

会長	資料１のデジタル田園都市国家構想交付金事業の１から７について、「総合戦略のKPI達成に有効であった」との評価でいかがか。また、８については「やや目標達成困難」との評価でいかがか。
委員	異議なし。
会長	議事(3) 姫路市SDGs未来都市計画の進捗状況について事務局からの説明を求める。
事務局	【説明】
会長	事務局からの説明に関して御意見等があれば発言をお願いしたい。
委員	一般家庭で取り組めることには限りがあると思うが、例えば、ごみを分別することで効果が出るのか。
事務局	従前から、本市では粗大ごみも細かく分別していただいております。自治会の加入率も非常に高く、市民の皆様に御協力いただいている。今後は、事業系ごみの削減が課題の一つかなと考える。
委員	継続して啓発し、自治会や企業と一緒に実践していくことが重要だと思う。
委員	大きなことはできなくても、目の前のことから全員で取り組んでいくべきではないかと思う。
委員	今の学生は、我々の頃よりもはるかにSDGsに対する意識がある。むしろ大人への啓発が重要ではないかと思う。

委員	人口増と温室効果ガス削減は、目標としてはある意味で矛盾するように思う。そのバランスをどう考えるのかが大切ではないか。
委員	SDGsは雰囲気で捉えている人が多いと思うので、具体的な取り組みとして理解させることが大切だと思う。
委員	市民レベルでやれることには限界があるので、企業の取り組みが重要ではないか。
委員	環境にフォーカスしがちだが、17の目標があるので、もう少し多角的な視点が必要ではないか。
委員	企業においても、なるべく紙媒体から電子媒体へ変えていったり、若い世代向けに教育セミナーを開催したりしているので、これからもSDGsの推進に貢献できればと考えている。
委員	子どもは子ども、大人は大人、女性は女性といったふうに分けて考えるのではなく、皆が一体となって取り組めるような施策を考えて欲しい。また、人と人とのつながりが少し薄くなっていると感じるので、そういったことも課題として考えるべきではないかと思う。
委員	姫路で暮らすことのステータスを作り上げられれば、人も集まり、経済も潤う。
委員	教育というと、小学校から大学までを思い浮かべるが、経済面から考えると、企業人の人口の方が多いので、ここにアプローチすることにより、企業の付加価値が上がり、生産性の向上や人口減少対策などにつながると思う。
委員	生活に役立つ雑学的な知識の中には、一般家庭でもできる

会長	SDGsの取り組みに通じるものがあると思うので、親から子への知識の伝達といったことも大切だと思う。 以上をもって予定していた議事を終了します。進行を事務局にお返しします。 4 報告（10：30）
事務局	ひめじ創生事業について報告します。 【報告】
事務局	会議全体を通して何か質問等ございますか。
委員	特になし。
事務局	【その他連絡事項】 5 閉会（10：35）